

楽しく学び つながり 活かす 生涯学習

はむらの

教育

東京駅伝

第4回中学生「東京駅伝」大会

平成 25 年 3 月 20 日 (水)

- 女子の部 30 km スタート 午前 10 時
 - 男子の部 42.195 km スタート 午後 1 時
 - 大会会場および競技コース 味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コース
- 選手たちは皆、大会に向けて一生懸命練習しています。
みなさんの熱い応援をお願いします。



代表選手

〔男子〕

《羽村第一》金子直生、菅寛史、寺嶋大地、大野大騎、金子太郎、中野雄大《羽村第二》池田晃希、大石拓樹、鈴木涼太郎、関本浩貴、兼本柊哉、萩尾孝太、櫻村豪人《羽村第三》相川プリンス、真宇兒、和田俊輔、大野佑哉、楡井博朝、藤本歓太、稲垣和晃、柴田祥太郎、岩崎南海

〔女子〕

《羽村第一》清水優花、櫻庭杏菜《羽村第二》大池佳央子、清水悠香、蓮沼由子、八幡陽菜、清水亜依、君島幸奈、金子真菜、大石瞳、田中葵、及川樹《羽村第三》横森日花里、若林茉優、中村桃子、森下由梨奈、市村あずみ、松永碧唯、白須愛菜、野中成実、福島有那

(敬称略)

No.36

第15回地域教育シンポジウムを 開催しました

テーマ 羽村の未来を創造しよう

子どもとおとなの夢をかなえる

街づくりプロジェクト

問合せ 生涯学習総務課

1月19日(土)にゆとりぎで開催した地域教育シンポジウムでは、自分たちが住んでいるこのまちの今について、未来について、子どもたちが思うこと、大人たちが考えることについて、意見交換しました。

参加者

地域の子ども 70人
地域の大人 118人



オープニング

羽村第二中学校演劇部による寸劇



導入部分は、恒例となった羽村第一中学校演劇部による寸劇です。テーマに沿った創作演劇で、参加者のテーマに対する理解を深めました。今年も、皆さんの熱演(今年は大人の俳優さん?も登場)で、大いに盛り上がりました。

メインタイムその1

グループ討議

6つのグループに分かれて行われたグループ討議では、それぞれの自分の意見を発表しました。意見交換はとても活発に行われ、グループごとに出された意見をまとめました。



メインタイムその2

全体討議

全体討議では、グループ討議での意見交換を踏まえ、それぞれの考える未来の羽村像が示されました。

最後に、この日感じたことや思ったことを、それぞれの地域に還元したり、自分たちの生活に活かしたりしていくことを確認して、閉会されました。



アンケートから(抜粋)

〔テーマについて〕

- ・話しやすいテーマだった
- ・子どもたちがよく考えて発言していた
- ・羽村をもっとよくできる

〔グループ討議について〕

- ・子どもの意見がとても良かった
- ・未来の羽村が想像できた
- ・すごく楽しかった
- ・あまり意見が出なかった
- ・司会進行は中学生が良い

〔全体討議について〕

- ・活発な意見交換があり良かった
- ・自分の意見が深まった
- ・時間が短い

羽村市図書館からお知らせ

問合せ 図書館

児童文学講演会「鈴木まもるの鳥の巣の世界のはなし」

絵本作家で、鳥の巣研究者として数々の図鑑を手がけている鈴木まもるさんが、世界の珍しい鳥の巣の実物を見せながらお話をします。

日時 3月20日(水)午後2時～
会場 ゆとりぎ1階展示室
定員 70人程度(先着順)
 ※直接会場にお越しください。

鈴木まもるの鳥の巣の世界展

「世界の鳥の巣の本」などの原画を展示します。

日時 3月13日(水)～24日(日)
 午前10時～午後5時

会場 ゆとりぎ1階展示室
 ※「鈴木まもるの鳥の巣の世界展」
 のお問い合わせは羽村生涯学習センターゆとりぎへ

平成24年度 第3回羽村市図書館協議会

日時 3月14日(木)
 午前10時～正午
会場 図書館2階ボランティア室
傍聴 5人(先着順)
 ※直接会場へお越しください。

蔵書点検の結果について

平成24年11月26日から12月3日まで、図書館では蔵書点検を実施しました。利用者の皆様には長期間にわたる休館によりご不便をおかけしました。

蔵書点検は、図書館の資料(本だけでなくCDやビデオなども含む)が所在不明になっていないか、所定の場所に存在するかを、書架から本をおろし、1点1点バーコードを読み取って確認する作業です。

▼蔵書点検結果

対象館 本館
点検実施総数 279、209点
不明資料数 108点
 今年度の不明資料は108点で昨年度より42点減少しています。大切な資料を多くの方に利用していただくために、今後も不明資料の発見と防止に努めていきます。また、点検作業では書込みや、水濡れなどの汚損資料も発見されました。図書館の資料は市民の皆様の財産です。大切にお使いいただけるようお願いいたします。

図書館利用者カードの更新が必要です

利用者カードは、2年に一度登録データの更新が必要です。2年ごとに窓口で登録内容の確認をさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。また、2年以上利用者カードを

「図書館に対する私の意見・提案について」

図書館では、市民の皆さんに身近で利用しやすい図書館となるよう、日頃から、利用者のご意見・ご提案を伺い、図書館運営に生かしていくよう努めています。

今回は、最近いただいたご意見等の主なものの内容と、その対応等についてご紹介します。

意見・提案	図書館からの回答等
予約のキャンセルをネットか検索機からできるようにしてほしい。	次期システム更新の際に検討していきます。
インターネットの画像をプリントアウトしたい。	図書館では、著作権法に基づき複写サービスを行っています。一般のインターネットの資料をプリントアウトすることはできませんのでご理解ください。
1階に時計を設置してほしい。	1階の時計は、貸出しカウンター壁面に設置していますが、新たに新聞コーナー横にも設置しましたのでご利用ください。
室温が夏少し高く、冬は少し低いので、長く勉強してられません。改善してほしい。	市では、節電のため夏は28℃、冬は20℃となるよう室内の温度を設定しています。ご理解ください。

利用していない方は、個人データを消去します。図書館を利用する場合には、再度登録が必要です。運転免許証や保険証などの住所が確認できるものを持参して、図書館へお越しください。
 ※利用者カードを持参してください。

乳幼児期

少年期

青年前期

青年後期

壮年期

高齢期

つなぐ。育つ。いっしょに

小中一貫教育で推進する特色ある教育活動

羽村市独自の特色ある教育活動として「英語教育」「羽村学（郷土学習）」「人間学（キャリア教育）」「親学（家庭教育講座）」を実施しています。今号では、親学・羽村学・人間学をご紹介します。

※各校の実態に応じた学年の入替えやカリキュラムの内容が異なる場合があります。

問合せ 学校教育課小中一貫教育担当 内線 355

親学（家庭教育講座）

親学とは、PTAと連携を図りながら、子どもに身に付けさせておきたい基本的な生活習慣や学習習慣、人権教育や環境教育、食育などの教育課題、ネット犯罪など子どもを取り巻く環境などについて家庭に情報提供し、家庭教育に対する支援を行う取り組みです。今年度は、次の取組みを行いました。

- 一 中校区 0歳から15歳まで 子どもの成長と親の関わり方 講師 羽村市教育委員会委員 江本 裕子氏 平成25年1月12日
- 二 中校区 子どもの「なぜ？」「どうして？」の芽を育むために 大人の理科力の必要性 講師 日本大学理工学部准教授 塚本 新氏 平成25年1月27日

- 三 中校区 ①放課後の過ごし方 基本的な生活習慣（家庭学習を中心に） 武蔵野井戸端会議 平成24年7月24日
- ②親子でスキップコミュニケーション能力（親子の関わり合い） 講師 都非常勤講師 高野 友子氏 平成24年12月15日

※親学は、上記の各校区で実施したほかに、小作台小学校「アスリート（オリンピック金メダリスト米田功氏）を招いての交流会」と栄小学校「ファミリーール」は、単独でも実施しました。

羽村学（郷土学習）

羽村学では、前期「羽村に親しむ」中期「羽村に関わる」後期「羽村の明日をつくる」をテーマに、羽村市の現状と歴史について理解することで、郷土羽村を愛し、羽村のよさに気付き、これからの羽村に生きる人々の生活、文化や環境などを守っていくことのできる能力や態度を育成し、それらを生かした実践力を高めていきます。

羽村第一中学校・羽村第二中学校の3年生と羽村第三中学校2年生は、杏林大学保健学部の教員と学生を講師に招き、BLS（一次救命処置）の一つとしてCPR（心肺蘇生法）とAED（自動体外式除細動器）の操作法を学びました。

救命救急講座



救急隊が到着するまでの間、その場に居合わせた人が応急手当を行い、尊い命が救われた事例などを聞きました。

心臓の位置、肋骨圧迫の位置や圧迫の強さと速さなど人形をつかって具体的に学びました。



かけがえのない大切な命を救うために全員が真剣に取り組んでいました。



人間学（キャリア教育）

人間学では、前期「友達と学ぼう」中期「自分をみつめよう」後期「社会へむかって」を学習のテーマとして、社会的自立が図れる能力を身に付けるために、人間関係を豊かにする経験や学習を積み重ねています。児童・生徒が自己肯定感を持てるようにすることや、自らの生き方について考え、主体的に取り組み、実践できる力を育てます。

武蔵野小学校6年生は「プロから学ぶ」の単元で、12人のプロから職業に必要な技術について、また、仕事をする上での工夫や苦労等について話を聞きました。



プロから学ぶ

【児童の感想】

「ぼくは手打ちのそばをあまり食べたことがありません。どんなふうにするのか興味がありました。予想以上に難しく、体力もいるのでびっくりしました。プロは違うと思いました。特に、水の量はその日の気温や湿度を考慮して入れていることに驚きました。」

検証委員会

検証委員会とは、今年度各校区で行った小中一貫教育の取組みについて成果と課題を協議し、次年度に改善を図るために行います。各学校の校長・副校長・教務主任・生活指導主任と学校評議委員などで構成されています。

各校区は、平成24年6月から平成25年2月までの間に検証委員会を開催しました。検証委員会では、「学力の向上」「生活指導」「特別活動」「特色ある教育活動」「英語教育」「羽村学（郷土学習）」「人間学（キャリア教育）」などを検証の視点として各分科会でアンケート（教員、児童・生徒または、保護者）などを実施して次年度の実施計画を見直します。



小中一貫教育報告会を開催します

各校区の今年度の取組みや活動の成果、これからの課題などについて報告します。一人でも多くの皆様のご来場をお待ちしています。

日時 平成25年3月13日（水）午後7時～（午後6時45分開場）

場所 ゆとろぎ（小ホール）

ってどんなことを学ぶところ?(小学校編)

栄小学校 くぬぎ学級(知的)の主な取組み

くぬぎ学級には、現在、16人の子どもたちがいます。先生は、担任3人、介助員1人の計4人に加え、週6時間(音楽、体育、生活単元)は講師も指導にあたります。子どもたちが安心して居場所となり、信頼できる人のもとで自己肯定感が持てるようにすることと、異年齢集団の中で共感的で肯定的な人間関係を築けるようにすることを目指して、生活や学習をしています。



宿泊学習や校外学習等、体験的な活動をたくさん取り入れ、自立を目指した学習をしています。



国語や算数は、学習課題に応じて少人数のグループで学習しています。担任は教材教具を工夫し、具体的に分かりやすい授業をします。



通常学級との交流は、給食等で日常的に行っています。また一中のマロニ工学級とは、小中一貫教育の連携校として交流しています。



身辺自立の習慣を付けるために、自分のことは自分でできるように繰り返し練習します。調理実習や洗濯の実習もします。

小中学校特別支援学級(固定学級)の合同行事

- 羽村市内の小中交流会 (4月)
固定学級4校が羽村動物園に集まり、歌やゲームを通じた交流や合同グループでの動物園見学をします。
- 羽村市内の特別支援学級発表会 (12月) 【写真】
写真のように「ゆとろぎ」の舞台上で固定学級4校が劇や音楽の発表をします。また、展示室で行われる作品展には、通級指導学級の作品も出品されます。



市内特別支援学級(固定学級)に関するお問い合わせは

教育委員会	特別支援教育担当	電話555-1111	*内線373
栄小学校	くぬぎ学級(知的)	電話554-2024	*代表
武蔵野小学校	むさしの学級(知的、情緒等)	電話555-1255	*直通
羽村第一中学校	マロニ工学級(知的)	電話554-1515	*通級共用
羽村第三中学校	E組(知的)	電話555-5131	*代表

特別支援学級(固定学級)

特別支援学級(知的障害学級)とは?

あらゆる要因で、知的機能、学習や運動や生活に関わる全体的な能力が周りの子どもたちより、ゆっくりと成長する子どもたちに、将来の自立を目指せるように、その子にあったペースで学習や生活を教えたり、社会性を育てたりする固定学級です。

特別支援学級(自閉症・情緒障害学級)とは?

主だった原因は明らかではないが、何らかの原因で発達に影響が出て、コミュニケーションや言葉による伝達等が難しい、また、物事に対するこだわりが強かったり、周りが気になって集中することができなったりする子どもたちに、学習や生活を通して、その子の特性に応じた社会性を育てていく固定学級です。

武蔵野小学校 むさしの学級(知的、自閉症・情緒)の主な取組み

むさしの学級には、現在、知的9人、自閉症・情緒11人、全員で20人の子どもたちがいます。先生は、担任6人、介助員3人、講師(音楽等、週3日)1人の10人で教えています。学級では、主に全体で活動することが多く、1年生から6年生までが生活班に分かれて行動や学習をすることもあります。学習では、全体での学習と力に合わせたグループ学習(現在5グループ)で国語や算数、音楽を学んでいます。



パネルシアターでは、劇化して楽しみながら学習します。12月には、特別支援学級発表会で発表しています。



宿泊学習では、自立を目的として家庭を離れて、学級の友達と一緒に一泊して生活します。



職場体験報告会では、三中E組の生徒からの報告を聞き、学級からはお仕事体験発表をして交流しています。



通常学級との交流会、校外学習等への参加により交流を深めています。担任は全校児童への障害理解教育の授業もしています。

校長先生の「私の一冊」

『読書の楽しさを身につけよう』

私は、子どもの頃勉強は好きになれなかったのですが、本を読むことは大好きでした。ジャンルにこだわらず色々な本を読破しました。それは、大人になった今も続いています。

羽村第一中学校の学校だよりに、私が推薦する中学生に読んで欲しい本100冊を紹介しました。どの本も中学生にとって心に感動を与えられることでしょう。

その中から、夏目漱石の「坊っちゃん」を紹介しました。100年以上前の小説ですが実に面白い。坊っちゃんは江戸っ

子気質で血気盛んで無鉄砲な新任教師という設定が好きでした。漱石が熊本での教員体験を下敷きに、後年書いた小説です。物語は、松山のたった一か月間の出来事を中心に目まぐるしい展開と個性あふれる登場人物が飾ります。読んだ後に爽快さとともに寂しさを感じたのを思い出します。

最後に、私の一番大切にしている本に「空の名前」があります。日本の美しい風景と季節や天候の移ろいに関する言葉がちりばめられた珠玉の一冊です。

羽村第一中学校

校長 吉田 哲三

ゆとりぎ二時保育を利用して有意義な時間を

ゆとりぎでは、多くのコンサートや講座・展示会を開催しています。

今年度も、お子さんと一緒に楽しめるコンサートや、お子さんがいざという時のための応急処置を学ぶなど、子育て世代の方々が参加できる催しも行っています。

ゆとりぎイベントガイドに「保」のマークがあるのをご存知ですか。

「この催し物は、お子さんの一時保

育が利用できます」のマークです。子育て中のお父さんやお母さんが、催し物に、安心して積極的に参加できるようコンサートや講座の「保」マークの時間に、お子さんを預かります。

経験豊かな保育士がお預かりします。保育の時間中、お子さんは、おままごとをしたり、絵を書いたり、子ども同士で遊んだり、保育士と一緒に楽しい時間を過ごしています。

問合せ 生涯学習センターゆとりぎ

「ゆりーと」と一緒に東京多摩国体を盛り上げよう!

「ゆりーと」は、スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会)のマスコットキャラクターで、都民の鳥「ゆりかもめ」をモチーフにしています。

選手や多くの人々が、東京都を舞台に、夢と目標に向かって羽ばたいていけるよう、「ゆりーと」と一緒に国体を応援しましょう。

小学校の運動会をはじめ各種イベントに登場し、国体をPRしています。見かけたら、仲良くしてください。



大林素子さん講演会でのゆりーとダンス(「ゆりーと」&はむすぽジュニアチアダンス)



「ゆりーと」と「コミュニティバスはむらん(国体ラッピング仕様)」



●デモンストレーション行事「綱引」

日程 9月8日(日)
会場 羽村市スポーツセンター

●正式競技「バレーボール(成年女子)」

日程 9月29日(日)～10月2日(水) ※10月2日は決勝戦
会場 羽村市スポーツセンター

問合せ 国体推進室

はむら総合型スポーツクラブはむすぽ「平成25年度プログラムの紹介」

■プログラム(会場:スポーツセンター、スイミングセンター他)

新設	①初めてのヨガ	木曜日 9:30～	②リラックスヨガ	木曜日 11:00～
	③ジュニアバドミントン	水曜日 19:00～		
継続	④トールペイント	水曜日 9:30～	⑤書道教室	水曜日 15:00～
	⑥はつらつ体操	木曜日 10:00～	⑦スポーツ吹矢	木曜日 10:00～
	⑧ベビーマッサージ&ママピクス	金曜日 10:00～	⑨楽々バンド体操	木曜日 13:30～
	⑩ジュニアチアダンス	火・金曜日 16:00～	⑪西多摩ジュニア体操	火・水・木・金曜日 14:00～
	⑫バドミントン	金曜日 19:30～	⑬ソフトヨガ	金曜日 19:00～
	⑭スポーツ広場	水曜日 19:00～	⑮アケア&スイム(スイミングセンター)	水曜日 14:00～
	⑯夜のスイミング教室(スイミングセンター)	木曜日 19:00～		

■イベント

①熱中症予防講習会	4月 7日(日) 10:00～
②はむすぽ祭り	4月20日(土) 13:30～
③会員交流会(うどんづくり体験)	6月 8日(土) 10:00～
④ファミリーデイキャンプ	8月 3日(土) 13:00～

※詳細は、「はむすぽ」のホームページをご覧ください。



問合せ スポーツ推進課

INFORMATION

生涯学習センターゆとろぎ	Tel 570-0707	国体推進室	Tel 578-8788	小作台小学校	Tel 554-1431
図書館	Tel 554-2280	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
郷土博物館	Tel 558-2561	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
スポーツセンター	Tel 555-0033	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スイミングセンター	Tel 579-3210	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
弓道場	Tel 555-9255	松林小学校	Tel 554-7800		

教育随想

「朝はどこから」



弥生(3月)も末の27日、俳人芭蕉が親しい者に見送られ、千住から奥の細道への長い旅路が始まりました。春3月、子どもたちも巣立ちの時を迎えています。

先日、ラジオから「朝はどこから」という童謡が流れてきました。ある世代の方々にはとても懐かしい曲だと視聴者からの投稿。よくよく歌詞を調べてみると、なんとも胸が熱くなるような想いです。

朝日と共に希望に満ち元氣な挨拶から明けた朝。家族が働き、学びに向かう。一日が終われば家庭に戻ると笑顔で楽しい家族の団らんがある。

残念ながら歌詞は記すことができませんが、昭和21年に一般の国民からの応募によって作られた童謡です。こんな家庭から感性豊かな子どもたちが育ってきたのだなと思いついた時代が今、改めて見てみると家庭生活や子育ての中で無くなってしまうものが多いことに気がきます。

変わってきた時代の流れの中で、今こそ家庭の教育力が問われる時代になりました。元々あるべき姿をこのような童謡や唱歌から気付くことも大切なのではないかと思う春の午後です。

教育委員会委員 野崎 喜久美

特定非営利活動法人羽村市体育協会および羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

羽村市文化協会

TEL 080-25558-1010

羽村市の芸術・文化の発展を目指して

文化協会は、羽村市の芸術・文化の向上と発展を目的に平成17年6月に設立し、加盟する団体は年々増加し現在では90を超えています。

平成24年度は、東日本大震災や原発事故による被害の一日も早い復興を願いながら、主催事業を中心に、「日本の心」を表現するさまざまな事業を実施してきました。

平成25年度も市や教育委員会が実施する各種事業の企画・運営に協力していきます。

平成25年度の取り組み

平成25年度は、主催・共催事業として、「羽村市美術・工芸展」「はむら音楽祭」「サロンコンサート」を開催いたします。

後援事業は、加盟団体が発表する音楽、舞踊等のホール発表や、書、絵画、写真等の展示発表を積極的に支援していきます。

また、市の芸術・文化の祭典「羽村市文化祭」には実行部隊として全面的に参画していきます。

さらに、産業祭など各種行事への協力や保育施設、高齢者施設への慰問や小・中学校への教育支援等を実施していきます。

生涯学習の実践

平成24年3月に策定された羽村市生涯学習基本計画の実践の場として、文化協会は循環型生涯学習の実現に向けて行動していきます。

特定非営利活動法人 **羽村市体育協会** TEL.555-1698

第44回羽村市総合体育大会 第66回都民体育大会羽村市結団式

- 日時** 4月20日(土) 午後7時～
場所 スポーツセンター第1ホール
内容 優勝杯返還、選手宣誓など
 アトラクション1 国体PR「ゆりーとダンス」
 アトラクション2 「合気道」模範演技
 ○見学は自由です。(上履きを持参してください)



羽村市総合体育大会は、陸上や柔道、ソフトテニスなど26種目の競技で羽村市のナンバー1を競い合います。

都民体育大会では、羽村市の代表が、他の区市町村の代表と東京都のナンバー1を目指して競い合います。